



行動規範

合法的・倫理的に事業を行うための原則

目次

5 適用範囲		12 環境の管理	
5 目的		13 サプライヤーとの協力	
6 とるべき行動		14 競合に関わる行動	
本規範に基づく責任の共有	6	競争法	14
周知徹底と承認	6	競合情報の収集	14
利害関係者に対する責務	6	業界団体への参加	14
取引関係者への本行動規範の適用	7		
組織を代表した行動	7	15 ゼスプリの資産と評判の保護	
広報活動とソーシャルメディア	7	秘密保持	15
		不正防止	15
8 法令を遵守した業務遂行		裁量権	15
関係法令の遵守	8	当社資産の使用	16
記録の正確性と会社情報の開示	8	利益相反	16
記録の保管	9	政治献金	16
児童労働、奴隷労働および人身取引の禁止	9	贈答・接待	16
		腐敗行為、贈収賄、キックバック、「ファシリテーションペイメント」の禁止	17
10 職場における尊重		接待における責任	17
ゼスプリを素晴らしい職場にすること	10		
データプライバシー	10	18 方針の遵守：懸念事項の相談と報告	
安全で健康的な労働環境の維持	11	質問する	18
健康と安全に関する法律	11	本規範の違反や懸念事項の報告	18
		秘密保持と非匿名性	19
		本規範の遵守	19
		報復禁止	19

ゼスプリの 価値観

ゼスプリの価値観は私たちの信念です。私たちの信念。私たちはその信念の下に結束します。ゼスプリの価値観と信念は私たちに根付いています。



ゼスプリの行動規範 をお読みいただき、あ りがとうございます。



Dan Mathieson,
CHIEF EXECUTIVE OFFICER

ゼスプリの従業員として、私たちは倫理的・合法的に活動する組織で働くことを望んでいます。私たちは、最も高い基準を遵守する責任や、常にゼスプリの価値観に沿って行動する責任を、ゼスプリの生産者や株主、地域社会に対して負っています。

ゼスプリの行動規範には、勤務地を問わずすべての従業員にゼスプリが求める事が定められています。行動規範の冒頭には、法律を遵守するための基本的要件が記載されています。さらに、重要な業務慣行や重要事項（財務上の権限、利益相反の報告、詐欺や腐敗行為の防止、互いを尊重する良好な職場環境、職場の衛生・安全の確保など）に関するゼスプリの倫理基準も記載しています。ゼスプリの行動規範は、判断が難しい状況で正しい行動を取るための指針です。

また、本規範では、潜在的な違反に関して声を上げ、懸念を報告することを推奨しています。

日常業務において本規範を実践することは、すべてのゼスプリ従業員の責任です。私たちの文化や価値観に沿った行動規範を遵守することは、ゼスプリの優れた職場環境を維持し、ひいては会社や業界の成功につながるものです。私たち全員が果たすべき役割を担っています。

適用範囲

本規範はグローバルな方針であり、ゼスプリ・グループのすべての従業員・取締役に応用されます。本方針において「従業員」とは（派遣雇用、有期雇用、正規雇用を含む）社員、コンサルタント、請負業者、実習生、出向者、在宅勤務者、非正規社員、代理店スタッフ、ボランティア、インターンすべてが含まれます。本方針における「ゼスプリ」、「会社」、「当社」、「私たち」という用語は、ゼスプリ・グループ・リミテッドとすべての子会社・関連会社を指します。



目的

ゼスプリには、キウイフルーツを通じて世界中の人々や地域、環境に貢献するという使命があります。この使命を果たすために、私たちはグローバルな企業活動において最高の倫理基準を目指しています。

また、社内外の取引において、健全で持続可能なビジネス慣行に取り組んでいます。

ゼスプリは持続可能性を重視し、事業目的の中心として考えています。ゼスプリが生産するキウイフルーツは、健康上の利点と高い栄養価から世界中に需要があります。ゼスプリは事業の成長と同時に、従業員や環境、地域社会を尊重し向上させることによって持続可能なビジネスを実現させます。このため、私たちは自らのすべての行動に責任を負い、すべての関連方針と本規範を確実に遵守する必要があります。

本行動規範（以下「本規範」）は、労働、環境、健康と安全、倫理的なビジネスを含む行動に関して私たちに求められることを定めています。

私たちの責務とは、法律の文言及び趣旨の双方を遵守することを意味します。また、利害関係者（生産者、顧客、サプライヤー、競合企業、同僚、取締役）に対し、公平かつ誠実に、敬意を払い、透明性を持って接することも意味します。

ゼスプリの行動規範は、合法的、倫理的かつ持続可能な方法で事業を行うための原則を記載したものです。従業員ならびに取締役は、注意して本規範を読むこ

と、そして、ゼスプリの業務を遂行する際には、本規範に定められている原則を遵守することが求められます。

倫理的かつ持続可能な行動への取り組みは、あらゆる面において重要です。当社の利害関係者（生産者、株主、ポストハーベスト処理業者、ニュージーランド政府、顧客、従業員、ベンダー、ビジネスパートナー、ゼスプリが事業を行う全世界の国々）に対する責務ゆえに、私たちはそれらの基準を遵守します。

本規範において定める原則の継続的な遵守に役立つよう、ゼスプリは、関係法令に従って各種方針も順次策定・変更します。

本規範と各地域の法規制との間に明らかな相反がある場合には、ゼネラルカウンセルまたはコンプライアンスマネージャーにご連絡ください。

とるべき行動

本規範に基づく責任の共有

私たちは、中核となる価値観を推進するために協力する必要があります。本規範で定める方針や各種方針の違反を未然に防ぐとともに、それらに関する違反の疑いを是正し、必要に応じて報告する義務があります。私たちが責任を共有することにより、懸念が大きな問題となる前に対処することができます。

私たち全員が本規範の原則を遵守しなければなりません。取締役、役員やマネージャーは、リーダーとして以下の責任も担います。

- ・ 模範と方向性を示す
- ・ ゼスプリの諸方針の従業員への周知徹底を図り、従業員がゼスプリの諸方針を参照できるようにすること、およびゼスプリの業務受託者にしかるべき方針を適用すること
- ・ 職務に適用される方針を従業員に定期的に通知し、かつ、従業員がそうした方針に関する研修を定期的に受けるようにすること
- ・ 倫理的行動を常に期待し、実践し、要求すること

周知徹底と承認

人事部は、すべての新規採用従業員（正規雇用、有期雇用、派遣雇用を問わない）に対し、入社時に本規範のコピーを提供し、必要事項を記入した署名済の行動規範フォームを当該従業員から取得しなければなりません。さらに、入社時に、一切の潜在的または実際の利益相反事項の人事部長への報告、利益登録簿への記録を求め、直属のマネージャーが適切に管理しなければなりません。

ゼスプリのゼネラルカウンセルは、本規範を新任の取締役に提供し、当該取締役が行動規範フォームに必要事項を記入の上署名するようにします。潜在的な利益相反はすべて、取締役の任命時およびその後定期的

に、ゼスプリのゼネラルカウンセルに申告し、取締役の利益登録簿に記録する必要があります。

サプライヤーやサービス提供者との契約を締結する権限を持つゼスプリの従業員は、当該契約が当社の諸方針に適合すること、およびサプライヤーやサービス提供者がサプライヤー行動規範に同意することに対する責任を負います。

ゼスプリは、実際の利益相反や利益相反の可能性が生じた場合は、それを登録することをすべての従業員に求めています。さらに、すべての従業員、取締役、および任期が長期（6か月以上）に及ぶコンサルタントに、利益相反事項年次申告書の記入を求めます。詳細については、利益相反方針を参照してください。

利害関係者に対する責務

倫理的かつ公正に事業を行うことが、世界中の関係者との信頼関係を築くことにつながります。グローバル企業として、ゼスプリは事業を展開する地域や国の利益のために活動し、現地の法律や規制を尊重する責任があります。

取引関係者への本行動規範の適用

倫理的行動に関するゼスプリの取組みは、生産者、ポストハーベスト処理業者、顧客、ベンダー、潜在的な顧客やサプライヤーとの取引関係に及びます。従業員と取締役は、利害関係者に公正に接し、価値を創造し、信頼関係を築くために行動することが求められます。利害関係者との関係や取引が本規範のいずれかの部分に違反する場合は、本書に記載されている報告手段に従って報告してください。

組織を代表した行動

従業員は、社内外の利害関係者との日常的な取引において、ゼスプリやキウイフルーツ業界全体の代表として最高水準の行動を取ることが、会社やお互いに対する責務です。従業員はビジネスの現場におけるゼスプリの評判を左右するため、口頭か書面かを問わず、常にゼスプリを代表した適切な発言が求められます。ゼスプリ、その製品、サービス、経営、従業員および/または各種システムに対する否定的な発言は容認されません。従業員は、地域やゼスプリ支社との通信および権限委任に関する方針・手順も常に遵守しなければなりません

広報活動とソーシャルメディア

広報活動は、ゼスプリが世界をリードするキウイフルーツのブランドであり続けるために行われるもので、あらゆる情報発信は当社の目的と価値観を反映しています。ゼスプリの評判とブランドはメディアの報道に大きく影響される可能性があるため、従業員は外部の利害関係者（ジャーナリストに限定しない）や個人のソーシャルメディアへの投稿がメディアによって複製される可能性があることに注意する必要があります。ネットへの投稿については、ゼスプリの価値観に沿って、すべての従業員が注意深く、敬意を持ち、誠実に、責任を持って行動すること、さらに機密性の高い情報を共有しないこと、ゼスプリの評判を損なう可能性のある内容を投稿しないことが求められます。



法令を遵守した業務遂行

関係法令の遵守

ゼスプリは適用される法律に従って事業を行います。従業員および取締役は、法律に従いゼスプリを代表して責務を遂行するにあたって適切な判断力と常識を働かせ、違法行為を行わないことが求められます。

具体的には、ゼスプリでは、以下の原則を遵守することが求められます。

- a. 政府機関に提出しなければならない報告書や文書において完全・公正・正確・適時かつ理解可能な開示をすること
- b. すべての関係法令の趣旨と文言の双方を遵守すること
- c. 社内方針、内部統制、監査要件を遵守すること
- d. 本規範の違反（違反の疑いか既知の違反かを問わない）を、本規範の規定に従って速やかに内部報告すること
- e. 本規範の不遵守があった場合には、解雇を含めた懲戒処分という結果に至る可能性があることを理解すること

特定の職務または特定の分野で働く人々に適用される可能性のあるすべての適用法および特定の規則や規制の詳細を知ることは期待されていません。特定の状況に違法行為が含まれるかどうか、または各自の活動に適用される可能性のある特定の法律について質問がある場合は、リスク対策マネージャー、弁護士、またはグローバルエグゼクティブに指示と支援を求めてください。

記録の正確性と会社情報の開示

ゼスプリは、事実を誠実かつ正確に発表することを重視します。従業員や取締役は、取引を正確・公正かつ漏れなく反映する記録を維持することが求められます。

政府機関に対して行う開示・届出を含めた一切の情報発信や開示物（財務情報を含む）は、完全・公正・正確・適時かつ理解可能であると同時に適用される法律に完全に準拠していなければなりません。

従業員は、各自の責任範囲内で財務情報を正確かつ漏れなく報告し、当社にとって重要な財務情報および非財務情報を経営幹部に適時に通知する責任があります。ゼスプリの連結財務諸表は、ニュージーランドのIFRSおよび一般会計原則、ならびにゼスプリの会計方針に準拠するものとし、支社または法定の帳簿および財務諸表は、現地の規制法令に準拠するものとし、ます。

ゼスプリは

- 常に、財務諸表に記録されている取引の性質を真正かつ正確に表示します
- 常に、資金や資産を正確に開示・記録します
- 常に、支払または購入について、当該取引を裏付ける文書に記述されているとおりに開示します

本項の記載事項のいずれかが職務に含まれるゼスプリの従業員は、遵守を徹底するために必要な措置を講じるものとします。会計または財務報告に関連して不適切な行為に気づいた場合は、本書の報告手段に従いただちに報告してください。

記録の保管

ゼスプリでは、会社の記録や文書を細心の注意を払って保管することを不可欠としています。私たち全員が、ゼスプリのデータ、文書、ファイル、記録の保管についての責任、ならびに記録保管に関係するすべての法令を遵守する責任を負っています。情報を破棄する際は、すべての事業上の要件および法的要件を満たしている必要があります。法令遵守上必要である、または進行中の調査、訴訟事案のために必要な文書や記録の改ざん、隠蔽、破棄は許可されません。文書保持の必要性について質問がある場合は、最寄りの財務マネージャーまたはゼネラルカウンセルに問い合わせてください。

児童労働、奴隷労働および人身取引の禁止

ゼスプリは、当社や利害関係者が事業を行う国における児童労働、奴隷労働、人身取引を禁止するすべての法律および規制を遵守することを、従業員および利害関係者に求めます。個人や企業が児童労働、奴隷労働、人身取引に従事していることにゼスプリが気付いた場合、そのような個人や企業との取引は行いません。



職場における尊重

ゼスプリを素晴らしい職場にすること

ゼスプリの中核的な価値観である「従業員を守る」、「結果を重視する」、「信頼を築く」ことが職場における相互理解を促進し、企業文化を醸成し、素晴らしい職場を実現します。

私たちの価値観に沿った、オープンで互いを尊重する良好な職場環境が期待されます。

互いに敬意と尊厳を持ち、安全で健康的な環境における雇用機会を提供することがゼスプリの理念であり、ゼスプリはこれを実践します。採用、昇進、報酬、解雇をはじめとする雇用に関する決定は、職務に関する能力、資格、および関係法令によって要求される要素に基づいて行われなければなりません。

互いを尊重する良好な職場を維持する取組みの一環として、不当な嫌がらせは一切容認されません。ゼスプリは、良好な職場環境を維持するための取組みや、その役割を担う従業員などの責任に関する方針を定めています。さらに、従業員が誠実であることを重視し、すべての取引において、従業員が関係者を尊重し、正直で誠実であることを期待します。

データプライバシー

ゼスプリは従業員から直接個人情報を収集したり、雇用期間中に従業員に関する個人情報を作成します。ゼスプリは、ゼスプリのプライバシーポリシーに定められた原則に則り、この個人情報を適切に保護し管理します。

職務上、従業員や生産者、または消費者や顧客に関する個人情報にアクセスする場合は、個人情報を保護するために特別な注意を払う必要があります。個人情報は、情報収集の際にゼスプリが説明した方法でのみ、アクセス、使用、共有が可能です。情報提供者の同意を得た場合、または法律で要求される場合のみ、新たな方法で個人情報を使用したり、共有することができます。個人情報の使用（内部または外部との共有を含む）は、グローバルデータ保護責任者*の承認が必要です。

ゼスプリのゼネラルカウンセルがグローバルデータ保護責任者です。

安全で健康的な労働環境の維持

ゼスプリは健康的で安全な労働環境の提供に努めています。これには、能動的なリスク管理、労働者の参加と関与、および緊急時対応計画が含まれます。

安全で健康的な職場を実現するためには、私たち全員が自分の役割を果たさなければなりません。これには、以下が必要です。

- 安全手順が明確に文書化されていることを確認する。
- 職場に立ち入るスタッフや関係者に安全手順を伝える
- 安全に関わる法と手順を遵守する
- 掲示されている安全関連の標識を認識する
- 常に適切な安全装置を使用する
- 安全性に欠けたり危険な労働環境を防ぐために協力する
- 安全性に欠ける状況や危険な行動を上司または安全衛生委員会のメンバーに報告する
- ニアミスや怪我が発生したらただちに報告する
- 自分や他の人の怪我のリスクを減らすためのリスク低減措置を実施する

安全な職場環境に酒類や違法薬物は存在しません。健康上の問題は業務遂行に影響を与え、危険を引き起こします。処方薬の影響にも注意する必要があります。ゼスプリのイベントでの適度な飲酒を除いて、社内での飲酒は許可されません。社内で、およびゼスプリの従業員として当社を代表して仕事をする際に、違法薬



物の所持、配布、販売、または使用は厳禁です。
嫌がらせや暴力的な脅迫は一切容認されません

健康と安全に関する法律

ゼスプリが事業を行う場所では、適用されるすべての安全衛生法および規制を遵守し、健康で安全な労働環境を促進するために合理的に実行可能なすべての措置を講じることがゼスプリの方針です。

ゼスプリの取り組み：

- 食品の安全に関する規制上のすべての基準・要件ならびに食品の安全に関して顧客が設けるすべての基準・要件に適合する製品を調達・供給すること。
- 顧客のニーズを把握し、相互に合意された仕様を満たす製品・サービスを顧客に提供すること。

「事業を行う場所で適用されるすべての安全衛生法および規制を遵守することがゼスプリの方針です」

環境の管理

私たちは環境に対する責任を真摯に受け止め、環境負荷の低減に努めています。

- ・ 特に気候変動、水の使用と水質、包装を重視しています。
- ・ 関連法規を遵守し、環境パフォーマンスを報告します。
- ・ ビジネスパートナーにも同様の取り組みを期待します。

気候変動：

- ・ 気候変動から生じるリスクを評価し報告します。
- ・ 業界の「気候変動の影響からの回復力」を向上させるために投資しています。

資格要件：

- ・ 事業を行う国の法律を理解し、環境に関する資格要件を遵守します。



「私たちは、気候変動、水の使用と品質、包装を特に重視しています」

サプライヤーとの協力

ゼスプリが事業を行う場所では、適用されるすべての安全衛生法および規制を遵守し、健康で安全な労働環境を促進するために合理的に実行可能なすべての措置を講じることがゼスプリの方針です。

ゼスプリの取り組み：

- ゼスプリ、生産者、ポストハーベスト処理業者、株主、そしてすべての利害関係者のために持続可能な未来を築く
- 顧客のニーズを把握し、相互に合意された仕様を満たす製品・サービスを提供する
- ゼスプリの成功を、環境の管理および社会貢献と同等に考える
- 社会的責任を果たしているサプライヤーから製品を調達する
- サプライヤーに、倫理的な取引規範への取り組み、法的な雇用要件の遵守、職場における労働者の権利と尊厳の尊重を求める
- 商品やサービスのサプライヤーが、自社のサプライチェーン全体で倫理的な価値と目標を尊重し実施することを求める



競合に関わる行動

競争法

ゼスプリは、市場において、公正、誠実、倫理的、合法的な方法で競争することを約束します。当社の従業員や取締役は、適用される独占禁止法および競争法に準拠した方法で、ゼスプリの代表として活動することが求められます。独占禁止法または競争法の実際の違反だけでなく、これらの法律に違反しているという申し立てであっても、ゼスプリの評判に深刻な損害を与えたり多額の罰金および訴訟費用が発生する可能性があります。一部の国では、独占禁止法または競争法に違反した場合、刑事責任を問われたり罰金を課される可能性があります。独占禁止法または競争法の違反または違反の申し立てに至る可能性がある活動を回避するために、以下を守ってください。

1. 地域の独占禁止法または競争法に違反するような理解事項、合意、計画、企画を意図的に締結しないこと。
2. すべての顧客と販売業者に、ゼスプリのビジネスのために公正かつ積極的に競争することを求めること、およびゼスプリのキウイフルーツに関連する反競争的行為は容認されないことを明確にする。

競合情報の収集

効果的な競争には、市場と競合企業に関する情報を常に把握することが必要です。ただし、競合情報は倫理的かつ合法的な方法でのみ収集し、以下の方法で競合情報を取得してはなりません。

- 盗難
- 欺く
- 不実表示
- その他の不正または違法行為

従業員に以前の雇用主との秘密保持契約に違反するようなことを依頼したり、競合他社から非公開の機密情報を入手しようとしなことが特に重要です。

業界団体への参加

通常、競合企業との交流は避けませんが、何らかの接触が避けられない場合もあります。＼

International Kiwifruit OrganizationやFruit Logisticaなどの組織やイベントは、私たちがネットワークを構築し、キウイフルーツをさらにグローバルに発展させる絶好の機会となります。しかし、これらのイベントでも課題が生じます。イベント参加時の競合他社との接触に注意する必要があります。許容されるコミュニケーションについて質問がある場合は、ゼスプリのゼネラルカウンセルに問い合わせてください。

ゼスプリの資産と評判の保護

秘密保持

情報は、ゼスプリの成功にとって重要な要素です。利害関係者を含めて、ゼスプリの従業員は業務を遂行するために秘密情報へのアクセスが必要になる場合があります。顧客やサプライヤーを含む当社の利害関係者、および当社と関係するその他の個人や組織は、その取引や情報が当社によって適切な機密性と安全性をもって取り扱われる権利を有します。

ゼスプリの機密情報は、慎重に保護する必要のある貴重な資産です。従業員はゼスプリと当社の利害関係者の情報の機密性を保護することが求められます。機密情報は事業目的でのみ使用し、機密情報の社内外への開示は、正当な事業目的のために情報を知る必要がある人のみに制限します。

会社の機密情報の開示は、意図的か偶発的かを問わず、ゼスプリに損害を与える可能性があります。当社の機密情報を利害関係者と共有する前に、適切な秘密保持契約を締結する必要があります。法務部の承認なく、利害関係者の秘密保持契約に署名したり、標準条項の変更を受け入れないでください。

詳細については、無形資産専門家に問い合わせてください。

不正防止

ゼスプリは不正行為を容認しません。ゼスプリ内での不正行為が疑われる、または不正行為を発見した場合は、以下の報告手段に従って直ちに報告する必要があります。

裁量権

グローバル権限委譲ポリシー（DAM）に概説されているように、一部の従業員は、ゼスプリを代表して契約を締結することを含め、意思決定および/または資金提供の約束や支払い承認を行う具体的な権限を持っています。従業員は、DAMに精通し、明確な権限が与えられている場合に限り、ゼスプリを代表して業務上および財務上の意思決定や取引、費用負担を行うことが必要です。詳細については、DAMを参照してください。

会社資産の使用

ゼスプリの資産は、事業目的に限定して使用すべき貴重な資源です。従業員は、ゼスプリの資産を責任を持って使用し、盗難、誤用、破壊から保護することが求められます。

資産には、業務用機器のほか、会社設備、車両、コンピューター、ソフトウェア、文書、および商標が含まれます。さらに、電話サービス、電子メール、インターネットアクセスなどの情報通信技術および当社の技術資産またはクラウドシステムに格納されているすべてのデータも資産に含まれます。

性的なコンテンツ、不適切なユーモアやハラスメントなど、職場環境に不適切なコンテンツを共有することは許可されません。会社の資産は、事業以外の活動や違法、非倫理的、またはその他の不適切な活動に使用してはなりません。

詳細については、情報システム利用規程を参照してください。

利益相反

利益相反が生じる可能性のあるビジネスおよび個人的な状況は避けるべきです。従業員やその家族が関与する活動や、個人的な利害関係（金銭的なものを含む）がある活動によって、ゼスプリの義務や責任を果たす上での客観性が阻害され得る場合に、利益相反が存在すると考えられます。他の事業体とゼスプリの取引は、個人的な利益や活動の影響を受けてはなりません。そのような利益相反は、ゼスプリとその代表者の評判を損なう可能性があります。

ゼスプリと関係者の評判に悪影響を与えないように、利益相反の可能性や利益相反があるとみなされる活動は避けるか、上級管理者職に相談してください。利益相反の可能性が報告された時点で、担当のグローバルエグゼクティブ（取締役またはCEOの利益相反の場合はゼネラルカウンセル）は、そのような利益や役職が本規範に抵触しているか、または組織の最善の利益を損なっているかを判断し、その状況の最終的な性質を決定します。状況によっては、利益相反を適切に管理できない場合があり、ゼスプリの利益か外部の利益のどちらかを排除する必要があります。詳細については、利益相反方針を参照してください。



贈答・接待

ゼスプリは、最も高い職業倫理基準に従って行動すること、および常に自主性を保つことに取り組んでいます。利害関係者との良好な関係を築くために、ビジネス上の標準的な儀礼として適切な贈答品や接待が提供されることがあります。ゼスプリでは、このような状況を適切に管理するために、従業員と取締役の指針となる贈答方針を定めています。従業員は、贈答方針の趣旨と文言の両方に沿って行動する責任があります。

一般原則として、従業員は、贈答品や特典、または接待が適切で妥当な価値であるかどうか、および承認が必要かどうかを、それが提供されたり受ける前に常に検討する必要があります。

従業員は、会社の方針に従って、贈答品や特典または接待を贈答品登録簿に記録すること、および方針の解釈と遵守について透明性を確保し誠実であることが求められます。

次のいずれかに該当する場合は、贈答品を授受しないでください。

- a. 法律または一般に認められている倫理基準に反している
- b. 地域の商慣行と矛盾している
- c. 賄賂または見返りとみなされる形や方法である

政治献金

ゼスプリは、従業員がそれぞれの国の政治活動に参加することを推奨しています。ただし、法律によって求められない限り、政治活動には個人的な時間で、かつ任意に参加しなければなりません。ゼネラルカウンセルおよびゼスプリグループリミテッド取締役会により事前に承認されていない限り、ゼスプリとして、またはゼスプリを代表して政治献金を行ってはなりません。従業員は、当社の名称、時間、資金、その他のリソースを使って政治献金または政治的寄付をしてはなりません。

- d. 贈答や接待の内容や状況が一般に公開されると、ゼスプリの従業員が恥ずかしく思う可能性がある
- e. ゼスプリの製品やサービスの交渉に関わる
- f. 贈答品を現金に交換する
- g. 受領者に何らかの義務を負わせる賄賂や報酬としてみなされる可能性がある
- h. 豪華で過度または不相応な価値がある
- i. 頻繁または不適切である

詳細およびガイドラインについては、ゼスプリの旅行および贈答品、利益供与および接待に関する方針を参照してください。

腐敗行為、贈収賄、キックバック、「ファシリテーションペイメント」の禁止

ゼスプリは、事業を展開する地域のすべての腐敗防止法を遵守することを約束します。多くの場合、贈収賄防止法や腐敗行為防止法は、国境を越えて適用され、規制の違反は、個人にとってもゼスプリにとっても重大な結果を招くことがあります。これらの法律に関するゼスプリの立場は明確です。いかなる形でも贈収賄または腐敗行為に関与せず、ビジネスやその他の不適切な利益を獲得または維持するために、直接・間接を問わず、いかなる個人や団体に対しても一切のキックバックを提示したり、承認、受領、提供することをしません。「贈収賄」とは、ビジネスまたはその他の不適切な利益を獲得または維持するために、価値のあるものを提供、受領したり求めることです。「キックバック」とは、ビジネスに関わる取り決めを行ったり促進したりすることに対する見返りとしての報酬や報酬の約束です。

事業所の所在地に関わらず、ゼスプリの代表者として活動する従業員や取締役は、ビジネスやその他の不適切な利益を獲得または維持するために、いかなる形でも賄賂や謝礼、キックバックを直接あるいは（第三者を通じて）間接的に提供したり約束してはなりません。これを常に遵守することが大切ですが、相手が公務員である場合は特に重要です。公務員とは、国有または一部国有の企業、省庁、政府機関、政党の役員、コンサルタント、従業員、または政治家候補、世界保健機関や世界銀行などの国際機関の役員や職員または上記のいずれかの人物の配偶者もしくは近親者を含みますがこれらに限定されません（以下「公務員」といいます）。

ゼスプリを代表してファシリテーション・ペイメントをすることは許可されません。ファシリテーション・ペイメントとは、定型的な政府の手続きを円滑化するための支払いです。腐敗行為防止法の違反が招く結果は、違反に関与した個人にとっても当社にとっても重大なものとなります。

詳細については、贈収賄防止および汚職防止方針を参照してください。

接待における責任

取引先との関係構築や事業を促進する目的で、従業員が懇親会に出席したり主催する場合があります。このようなイベントは、常に費用の出所が理に当たっていること、およびゼスプリが主催する場合の費用は適度であることが必要です。費用支出に関する業務上の理由は完全かつ明確であるものとし、適切な承認を得た上で裏付けとなる文書の添付が必要です。

飲酒を伴うイベントの場合、従業員およびゼスプリが主催するイベントへの参加者は、責任を持って行動し過度な飲酒を避け、出席者全員の安全を最優先にすることが求められます。特に会社を代表して外部の参加者を接待する際は、常にプロ意識と誠実さを持って行動してください。これは、的確な判断力を持ち、不適切な行動や業績の低下、または関係者にとって問題のある状況につながるような飲酒をしないことです。酩酊するような飲酒は容認されません。他人の安全を脅かしたり、法律に違反する行動は、解雇を含む懲戒処分に至る可能性があります。不適切な飲酒は不正行為とみなされ、現地の懲戒方針に従って処分されます。

経営幹部と上級管理職は、模範を示し、問題が発生した際は適切に対処することが求められます。

従業員は、地域の規定や現地のゼスプリ行動関連方針や手順を常に遵守する必要があります。

方針の遵守：懸念事項の相談と報告

質問する

正しい行動方針が定かでなかったり、疑問が生じる場合があります。個々の状況に関して不明な点がある場合には、必ず助言を求めてください。問合せ先は以下のとおりです。

- ・ 直属の監督者もしくは所属長、または地域グローバルエグゼクティブ
- ・ 地域の人事部
- ・ ゼスプリのゼネラルカウンセル（電話またはeメールにて）
- ・ ゼスプリのコンプライアンスマネージャーまたはリスク対応マネージャー

上記の連絡先は、業務に関係する法令・方針・所定手順に精通しており、質問に答えることができます。

本規範の違反や懸念事項の報告

本規範や諸方針または法律の違反に気づいたり、違反が疑われる状況が生じることがあります。違反が疑われる場合は、以下の報告手段を使用して違反を報告してください。違反に該当する行為は国によって異なるため、以下の選択肢から適切な報告方法を検討してください。

1. 必要に応じて、現地の監督者または経営幹部に知らせてください。違反の疑いに関する懸念の最も身近な報告先は、通常は現地の監督者または経営幹部です。監督者に通報することを希望しない場合、または地域の経営幹部が懸念の報告に適切に対処しなかった場合には、他の報告先を利用することもできます。

2. 銀行取引、会計処理、財務、内部会計統制、贈収贈もしくは腐敗行為に関係する、または独占禁止法・競争法違反に関係する善意の報告は、以下の役員に直接行うこともできます。

- ・ チーフエグゼクティブオフィサー
- ・ チーフファイナンシャルオフィサー
- ・ グローバルエグゼクティブ（各地域の担当）
- ・ ゼネラルカウンセル
- ・ コンプライアンスマネージャーまたは
- ・ リスク対応マネージャー

3. 懸念事項の性質や発生場所によっては、第三者が管理するZespri Speak-Up Websiteという独立サービスを通じて報告できます。報告方法は国によって異なるため、特定の懸念事項の報告先、報告方法に関する指示は、ウェブサイト上に掲載されています。地域の法的要件に従って地域での対応が必要な問題は、地域の経営陣に報告するようウェブサイト上で指示されます。このウェブサイトは独立した第三者によって運営されており、24時間年中無休で利用することができます。

「個々の状況に関して不明な点がある場合には、必ず助言を求めてください。」

秘密保持と非匿名性

報告された情報は、可能な限り秘密厳守で扱われます。匿名の報告を徹底的に調査することは難しいため、報告者の身元を明らかにすることが徹底的な調査に役立ちます。ただし、身元を明らかにすることに不安がある場合は、匿名で報告することができます。報告方法に関わらず、実際の不正行為や不正行為の疑いに関するあらゆる報告は、迅速かつ真摯に対処されます。しかるべき担当者は報告を慎重に調査し、不正行為に関与した従業員を雇用する事業所は必要かつ妥当な措置を講じます。

本規範の遵守

従業員および取締役は、本規範およびゼスプリの諸方針のすべての要素を遵守することが求められます。いかなる違反も、解雇を含む懲戒処分という結果に至ることがあります。

報復禁止

誠実かつ互いを尊重する企業文化を保持するためには、善意で報告する従業員を保護しなければなりません。このため、ゼスプリは、潜在的な違反を善

で報告した従業員に対する報復行為を厳に禁じています。「善意」とは、報告する情報が正しい情報であると従業員が確信または認識していなければならないことを意味します。間違いがないことではありませんが、善意で行動しなければなりません。

また、潜在的な違反に関する調査に善意で参加したことを理由に従業員が報復されることがあってはなりません。ゼスプリは、不正行為に関するあらゆる報告を現地の要件に従って慎重に調査します。潜在的な違法行為または非倫理的行為の調査に従業員が完全かつ誠実に協力することが重要です。報復を受けていると思う従業員は、上記の報告手段から適切な報告先に相談してください。

従業員は、ゼスプリが贈収賄のリスクを低減してないと合理的に判断した活動への参加を拒否したり辞退したことによって、報復、差別、懲戒処分を受けることはありません。



行動規範に関する質問

本規範の内容に関する質問は、人事部、法務部、またはリスク対応チームにお問い合わせください。

本規範の最終更新日：2021年3月

本規範の維持管理責任者：人事部長

免責事項：

ゼスプリの各種方針は、ゼスプリのビジネスプロセスおよび基準に従業員が理解するための重要な方法です。管理職は、直属の部下が会社の諸方針を知り、これらの方針が遵守されるようにします。新しい方針やプロセスを開発する場合、管理職と従業員は、不適切な活動がどこで発生するのかを検討し、そのような不適切な活動の機会を減らすための適切な低減策を提供する必要があります。ゼスプリの諸方針は、部署で定期的に見直しを行い、諸方針が最新で適切であることを確認します。現行方針の変更や、新設された方針は、適時に従業員に伝えなければなりません。
